

SANREMO
COFFEEMACHINES

Zoe Compact

取扱説明書



ブルーマチックジャパン株式会社

内容

安全上のご注意.....	3
付属品と設置について.....	6
仕様.....	7
準備.....	8
操作方法.....	9
抽出量のプログラミング.....	10
トラブルシューティング.....	11
クリーニング.....	12
保証とアフターサービスについて.....	13

お客様へ

この度は、当社のコーヒーマシン「Zoe Compact」をご購入いただき、誠にありがとうございます。本製品を安全に正しくお使いいただけるように、ご使用前にこのマニュアルをお読みにになり、内容を十分ご理解ください。このマニュアルは安全な場所に保管して、必要な時に見ることができる状態にしておいてください。このマニュアルの不明な点やご使用中に発生した問題点に関して記載がない場合、販売代理店、または、マニュアルに記載してある連絡先にお問い合わせください。

安全上のご注意

(安全に関する重要事項です。必ずお読みください。)

本製品を使用する際には、ご使用前に安全上のご注意をよくお読みになり正しくお使いください。

表示されているマークの説明



警告

この表示は、誤った取扱いすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。



注意

この表示は、誤った取扱いすると、人が傷害を負ったりその他の人的物的損害が起きる可能性があることを示しています。

全般的な注意事項



警告

- 本製品(電源コードや電源プラグを含む)の分解や修理は認定されたサービスマン以外では絶対に行なわないでください。修理や分解組立が正しく行なわれないと、本製品が正常に作動せずに水漏れや感電や火災などの原因となります。(但し、取扱説明書に記載されている清掃や調整は、手順に従って行えば安全です。)
- 本製品を改造しないでください。感電や火災の原因となります。
- 異常が発生した場合には、速やかに電源スイッチを切り、本製品の電源プラグを抜いて、すぐに販売店もしくは、サービスセンターに連絡をしてください。
(電源スイッチを切る時や電源プラグを抜く時は、感電や火傷に注意してください。)
- 本製品の内部にある部品や電気配線、配管などには手や体を接触させないでください。火傷や感電の原因となります。
- 本製品が原因でサーキットブレーカーや漏電遮断器が作動をした可能性があるときには、速やかに電源スイッチを切り、本製品の電源プラグを抜いて販売店もしくはサービスセンターに連絡をしてください。そのまま使用すると感電や火災などの原因となります。
- 本製品に水がかかる、付近でガス漏れの可能性がある場合には直ちに使用を止めてください。ガス漏れの際には使用されているガス器具の注意事項に従って引火や爆発の危険を避けてください。
- 本製品を移動する場合には、電源プラグが抜かれていること、本製品内部に水やコーヒー豆、コーヒーかすなどが無く、十分に冷えていることを確認して行ってください。火傷や感電の原因となります。
- 電源プラグや電源コードを濡れた手で触らないでください。感電の原因となります。



注意

- 電気製品を使用する際には火事、感電、怪我の危険を避けるために、常に安全のための基本的な注意事項を守ることが大切です。電気製品を取り扱う際の一般的な注意事項に従ってご使用ください。
- 本製品の点検やお手入れをする時には、取扱説明書に従い、主電源を切り、電源プラグを抜いて行ってください。感電や火傷怪我の原因となります。
- 電源プラグをコンセントへ抜き差しする時には、電源プラグや電源コードの取扱いに十分に注意をしてください。また、電源コードに人や物が絡まったり、つまずいたり、踏まれたりしないようにしてください。感電や火災や怪我の原因となります。
- 長時間本製品を使用しないときには、本製品の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、本製品内部の水やコーヒー豆、コーヒーかすなどを全て取り出し、洗浄を行ってください。
- 表面が熱くなっている部分には触れないでください。火傷や怪我の原因となります。
- 火事、感電や怪我を防ぐために電源コード、電源プラグや電気製品を水や液体に浸さないでください。

- 子供が電気製品を使用するときは十分に子供を監督し、子供の近くで電気製品を使用するときには、細心の注意を払ってください。
- 部品の取り付け、取外しまたは清掃をする時には十分に温度が下がった状態で行なってください。
- 電源コードや電源プラグが傷んでいるなど正常に動かない時には作動をさせないでください。
- 付属品以外のものを使用しないでください。 火事、感電や怪我の原因になることがあります。
- 野外では使用しないでください。
- 電源コードが卓上、カウンター上または表面が熱くなる場所の上などに垂れ下がらないようにしてください。
- ガスコンロ、電熱器や熱くなったオーブンの上やそばに置かないでください。
- 最初に本製品側に電源コードを差し込んだ後で電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- 本製品の電源スイッチをオフにしてから電源コンセントから電源プラグを取り外してください。
- 本来の目的以外には使用はしないでください。
- スチームやお湯が抽出されている時には十分に注意をしてください。火傷や怪我の原因となります。
- 本製品は業務用の機器です。

据付時の注意事項

本製品は、使用および保守の訓練を受けた要員だけに制限されている場所、または、訓練を受けた要員が監視できる場所に据付してください。



警告

- 本製品に供給する電源の工事を行う場合には電気設備工事の専門技術者が行き、電源の容量の確認を行うなど、設備工事に不備が無いようにしてください。感電や火災、本製品の故障の原因となります。
- 本製品の据付は認定されたサービスマン以外は絶対に行なわないでください。
- 据付を行なう時には、本製品の電源コードを損傷させたり、無理な配線をしたりしないようにしてください。電源コードが傷んだままで使用をすると感電や火災、本製品の故障の原因となります。
- コンセントの形状は接地コンセントタイプのものをお使いください。アースが不完全な場合には感電の危険性があります。



注意

- 設置および据付を行なう際には本製品を落下させたり倒したりしないでください。落下や転倒などにより怪我の原因となります。
- 据付をする場所は平坦で水平な場所で、十分に本製品の重量に耐えられる場所に置いてください。不安定な場所に置くと落下や転倒などにより怪我の原因となります。
- 天然木や天然石の上に置く場合、日常の作業や本製品の洗浄中に水滴や飛沫が飛散し、表面を汚濁、変質の原因となることがあります。水や洗浄液飛沫がついても影響の無い材質の上に置くか、直接飛沫が触れないように保護を行なってください。
- 設置周辺温度は5～35℃になる場所で、直射日光が常に当たる場所、埃や塵が多い場所、湿気が高い場所、振動がある場所などには設置をしないでください。内部の電気部品などの故障の原因となります。
- 本製品の周囲に熱がこもらない様に周囲の壁や家具や他機器などから10cm以上離して設置してください。熱がこもると電気部品などの故障の原因となります。
- 水道に直結する場合には0.5メガパスカル(MPa)以下の圧力であることを確認してください。高い場合には減圧弁などの減圧機を使用してください。
- 使用する際は、スケール抑制できる浄軟水器の設置をお奨めします。
- 浄軟水フィルターは年に一度交換してください。

操作を行なう時の注意事項



- スチームや熱湯の抽出操作を行なう前にはスチームノズルの位置に注意をしてください。離れすぎている場合、飛沫やスチームが周辺に飛び、火傷や怪我の原因になります。
- 顔や手に熱湯やスチームがかからないようにスチームノズルの位置に常に注意をして取扱いを行なってください。
- 電源スイッチや電源プラグを水に濡れた手で操作をしないでください。感電の危険性があります。



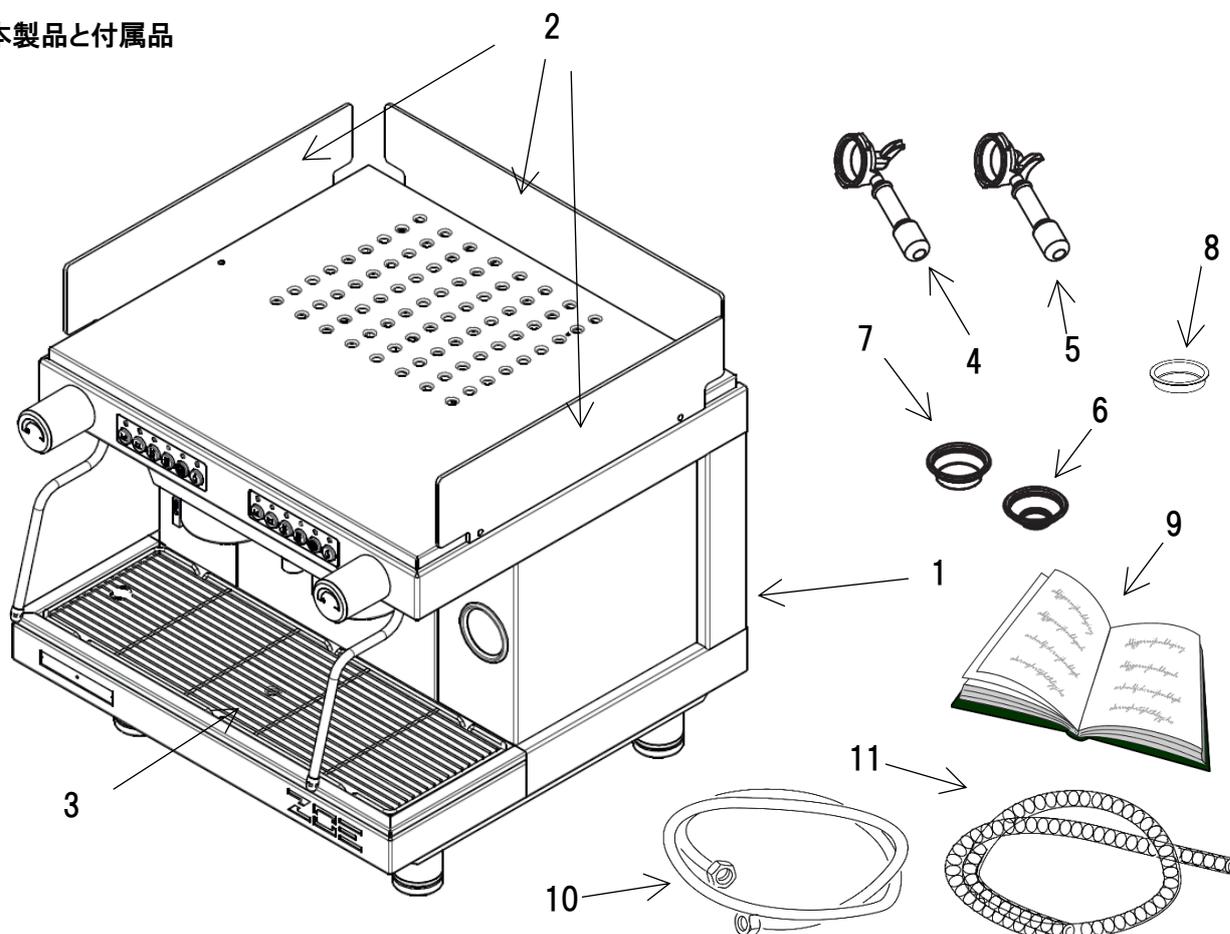
- 初めて使用する時、数か月以上使用しなかった後は、食品に触れる部品は洗浄してください。
- 抽出操作を行なう前に、スチームノズルの位置に注意し、カップを置いてください。また、高さの低いカップの場合は、カップ置台を使用してください。抽出液や熱湯の飛沫により火傷の原因になります。
- 本製品にアルコール類を使用すると破損します。使用はしないでください。
- 外した部品は食器乾燥機や食器洗浄機に入れると破損します。使用はしないでください。

使用時とメンテナンス時の注意点

- 本製品を正しくお使いいただくために、当説明書に従って操作を行なってください。メンテナンスおよび安全性の確認は操作内容を十分に理解して行ってください。
- 水の供給をしない状態で本製品を使用しないでください。故障の原因となります。
- 0 度以下になる室内外に水系統から水抜きをしないまま本製品を放置しないでください。凍結により故障の原因となります。
- 本製品の清掃には、高圧水洗浄機を使用しないでください。
- 本製品の清掃には、アルコールなどの薬品は使用しないでください。

付属品と設置について

1. 本製品と付属品



① 本製品	⑧ ブラインドフィルター
② カップガイド	⑨ 取扱説明書
③ 排水トレイ/すのこ	⑩ 給水ホース
④ フィルターホルダー(シングル)	⑪ 排水ホース
⑤ フィルターホルダー(ダブル)	
⑥ シングルフィルター	
⑦ ダブルフィルター	

2. 設置

・電気接続

- コーヒーマシンを設置する前に、主電源の電圧が銘板に記載の定格に対応しているか確認してください。
- 電源プラグおよびアースを正しく接続してください。本機は単相 200V の接続が必要です。
- 安全のため、アースは必ず接続してください、また電源回路にはサーキットブレーカーを入れてください。

・水道接続

- 本製品は浄軟水器を介して水道から直接水を取り入れて使用します。
- 水圧が 0.5Mpa を超える場合、減圧弁などの減圧機を使用して 0.5Mpa 以下になる様にしてください。
- 排水ホースを排水トレイに接続します。ホースの曲がりは極力小さくし、下側に傾斜させ水を排水施設に流れ易くしてください。
- 3/8 インチのホースで水道と浄軟水器を接続します。その後浄軟水器と本製品を接続します。

※注意:

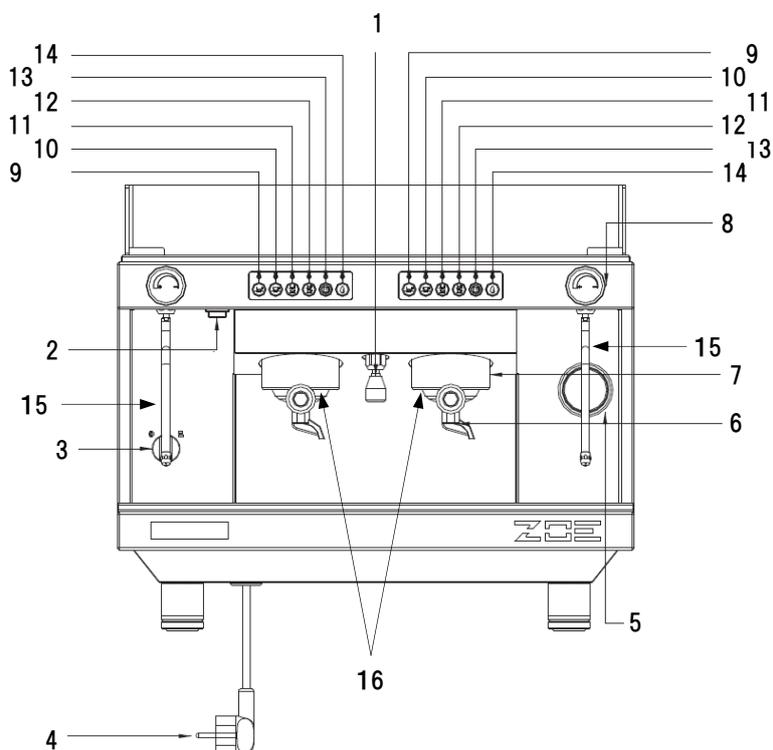
- 浄軟水器は高品質のコーヒーの抽出およびコーヒーマシンの状態を良く保ち故障やメンテナンス頻度を少なくお使いいただくために不可欠です。
- 浄軟水器との接続を確認するために、ポンプの給水口を接続する前に水道栓を開き浄軟水器に水を二分間ほど通して漏れが無い事を確認します。

仕様

寸法	幅 530mm x 奥行 528mm x 高さ 543mm
定格電圧	単相 AC200V 50/60Hz
定格消費電力	2000W
重量	45kg
使用環境温度	5～35℃
保管環境温度	-10～60℃
電源コードの長さ	約 1.5m
ポイラー容量	7L
ポイラー圧力	0.08～0.12MPa
許容水圧	最大 0.5MPa

準備

1.各部の名称



- | | |
|---------------------------|-------------------|
| 1) お湯抽出口 | 9) エスプレッソ抽出ボタン |
| 2) カップウォーマー電源スイッチ(オプション) | 10) コーヒー抽出ボタン |
| 3) 主電源スイッチ(2段階切り替え電源スイッチ) | 11) 2杯エスプレッソ抽出ボタン |
| 4) 電源プラグ | 12) 2杯コーヒー抽出ボタン |
| 5) ポンプ圧/ボイラー圧デュアルゲージ | 13) 連続抽出及び設定ボタン |
| 6) フィルターホルダー | 14) お湯抽出ボタン |
| 7) フィルターホルダー差込口 | 15) スチームノズル |
| 8) スチームノブ(回転式) | 16) シャワースクリーン |

2. 事前確認

・使用前の確認

- 電源プラグが正しくコンセントに接続されているか確認してください。
 - 給水ホースが正しく水道に接続されているか、水道の栓が開いているか確認してください。
 - 水漏れが発生していないか確認してください。
- 排水ホースが「2. 設置(P7)」の説明の通りに配置されているか確認してください。
- 左右どちらかのスチームノブ(8)を開けて、主電源スイッチ(3)を「1」の位置にして電子制御ユニットがボイラーの水を最大に達するまで待ちます。
- ※ボイラーが設定された時間(90秒)以内にいっぱいにならない場合、ポンプは停止して抽出ボタンが点滅します。その際は給水元栓が開いている事を確認し、主電源スイッチ(3)を再度「0」の位置にし、再び「1」の位置にしてボイラーの水位が最大になるのを待ちます。

- ボイラーの水位が最大になるのを確認したら、電源スイッチ(3)を「2」の位置にし、ヒーターをオンにします。
- 蒸気が左右どちらかのスチームノブを開いたほうのスチームノズルから出るのを待ちます。
蒸気が出始めたら、スチームノブを閉じてポンプ圧/ボイラー圧デュアルゲージ(5)を見ながらボイラー圧が 0.8~1.2bar (0.08~0.12Mpa) となる事を確認します。正常に沸き上がるまで約 20 分間要します。
- 火傷に十分注意してお湯・スチーム・コーヒーが抽出できる事を確認します。

電源スイッチ(「1」の位置)



・お湯抽出の確認

- ボイラー圧デュアルゲージが 0.5~1.2bar であることを確認します。
- お湯抽出ボタン(9) を押しお湯を抽出します。設定量になると抽出は停止します。

・スチームの確認

- スチームノブを反時計周りに回して蒸気が出ることを確認します。

⚠ 注意: 蒸気による火傷には十分気を付けてください。

・コーヒー抽出の確認

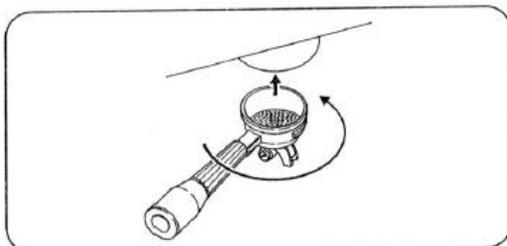
- フィルターホルダーをホルダー差込口にセットして反時計回りに回し、フィルターホルダーを固定します。
- 抽出キーパッド 9~13 のいずれかを押します。お湯が一定量出て停止する事を確認します。

操作方法

1. 抽出の操作

- コーヒー粉を入れたフィルターホルダーを本製品にセットします。フィルターホルダーは下図の様にハンドルを斜め左から抽出口にはめて右方向へハンドルが正面にきて止まるまで回すことでセットできます。
- ハンドルをはめたらフィルターホルダーの抽出ノズルの下にカップを置きます。抽出ボタン(9~13)の何れかを押します。
- プログラムで設定された量のコーヒーが抽出されると自動的に止まります。(プログラムで設定された時間内でも、再度抽出ボタンを押すと抽出は止まります)

フィルターホルダーのはめ方



※各ボタンによる抽出種類

- (9) エスプレッソコーヒー
- (10) コーヒー
- (11) 二杯のエスプレッソコーヒー
- (12) 二杯のコーヒー
- (13) プログラムモードもしくは連続抽出
- (14) お湯の抽出

(9) (10) (11) (12) (13) (14)



2. 抽出時のセーフモード

- 抽出時に押したボタンが点滅した場合には、電子システムに問題が発生したか水が足りなくなったかどちらかのサインです。安全上の理由から、点滅が始まった4分後に抽出は出来なくなります。
- 水栓が正しく開いていて水が本製品に正常に供給されているか確認してください。水栓が正しく開いている場合は電気系統に不良が発生している可能性があります。弊社コールセンターまでお問い合わせください。
- 4リットルの湯の抽出が継続して行われた場合も抽出が出来なくなります。その際は一度電源スイッチを「0」の位置にして電源を切り、再び正しい手順(8 ページ)で電源を入れてください。その際、スチームノズルを開けていただく必要はありません。

3. 蒸らし機能

- 本製品は1.2秒の蒸らし機能が利用可能です。これは以下の操作で設定することが可能です。

■蒸らし機能 ON

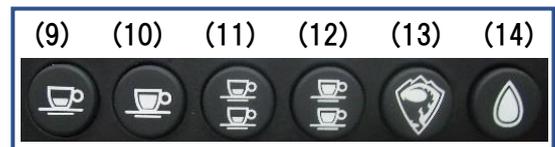
- ①本製品の電源を切った状態で、左側グループのボタン(9)を押しながら、電源スイッチを「1」位置にします。
 - ②ボタン(9)のみが点灯した状態になったら、ボタンから指を離して電源スイッチを「0」の位置にします。
 - ③電源スイッチを「2」の位置にします。
 - ④1杯取りの蒸らし機能がONになります。一度ONにすると、OFF操作をしない限り継続します。
- 蒸らし機能は「A:1杯取りのみ有効」「B:1杯・2杯取りともに有効」の2通りの状態が選べます。
上記操作で蒸らし機能をONにすると「A:1杯取りのみ有効」になりますが、「B:1杯・2杯取りともに有効」に変更するには、下記手順をおこないます。
- 1.電源を切った状態でボタン(9)と(10)を同時に押しながら、電源スイッチを「1」の位置にします。
 - 2.ボタン(9)と(10)が点灯した状態になったら、ボタンから指を離して電源スイッチを「0」の位置にします。
- ※蒸らし機能が有効かを判別するにはフィルターホルダーを付けずに抽出ボタンを押して、少量抽出して一度止まり、その後本抽出を行う動作をするか確認します。少量抽出が行なわれたら蒸らし機能は有効です。
2杯取りを行っても蒸らしが入らない場合は、1.、2.の操作をおこないます。

■蒸らし機能 OFF

- ①本製品の電源を切った状態で、左側グループのボタン(10)を押しながら電源スイッチを「1」位置にします。
- ②ボタン(10)のみが点灯した状態になったら、ボタンから指を離して電源スイッチを「0」の位置にします。
- ③電源スイッチを「2」の位置にします。

抽出量のプログラミング

- プログラムモードに入るためにはコーヒー抽出ボタン(13)を5秒以上押します。押すとボタン(13)が点滅を開始します。(左右のグループどちらでも有効です)
- 次に抽出量を調整するボタンを押します。ボタン(13)と共に選択したボタンが点滅し、抽出が行われます。
- 必要な量が抽出されたら再度ボタンを押して抽出を終了し、コントロールユニットにその量を記憶させます。
- 同様な手順で残りの4つの抽出ボタンの抽出量を調整します。抽出量の設定はボタン(13)が点滅している間行うことができます。操作を行わない状態で5秒以上経つと点滅は終了してプログラムモードから抜けま
- す。引き続き実施の際は、再度ボタン(13)を長押ししてプログラムモードに入ってください。
- お湯の抽出量も同様な手順で調整することが可能です。
- 左のボタングループで設定された抽出量は右側の抽出ボタングループにも適応されますが、同様な設定方法で右側のグループに独立した抽出量を設定することが可能です。
- プログラムモードを抜けるには、何も操作せず5秒以上待ってください。



クリーニング

- グループとホルダーの清掃

コーヒーマシンを清潔に保つため、清掃は必ず毎日営業終了後などに行ってください。

1. グループの清掃

1. 二杯取り用フィルターホルダーから抽出用フィルターを取り外し、付属のブラインドフィルターに交換します。

ブラインドフィルター
への取り換え方

ブラインドフィルターの
縁をフィルターに掛ける



ブラインドフィルターを
上に捻りフィルターを外す



ブラインドフィルター
を取り付ける



2. ブラインドフィルターに交換したフィルターホルダーの中にマシクリーナーを1錠入れます。
 3. 本製品左側抽出グループにホルダーをセットします。
 4. ボタン 13 を押しながら 3 秒以内にボタン 9 を押します。(必ず 3 秒以内にボタン 9 を押してください。3 秒過ぎるとプログラミングモードになります) クリーニングモードに入り抽出と停止を自動で 15 回繰り返します。クリーニングモードへは左右同時に入ることが可能です。クリーニングモード時でもお湯の抽出は可能です。
 5. 全てのボタンが点灯したらクリーニングモードは終了です。
 6. フィルターホルダーを外して、抽出ボタン 13 を押しお湯を出し 10 秒ほどすすいでください。
 7. 続いて反対側のグループを洗浄します。手順 2～6 を反対側のグループで再度行います。
 8. ホルダー取り付け部のシャワースクリーンを濡れた布巾などで拭いてください。
- ⚠ 注意:** コーヒー抽出グループ部は高温です、触れないように注意してください。

2. シャワースクリーン及びホルダーフィルターの清掃

1. コーヒーの抽出口に取り付けてあるシャワースクリーン及びホルダーフィルターをブラシで洗い流します。



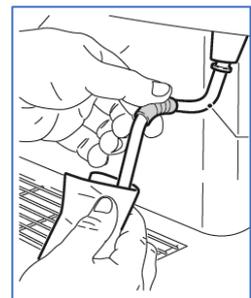
2. フィルターをホルダーから外して水洗いをします。コーヒーが付着しているときは、ブラシなどで汚れを擦り落とし布やクリーニングペーパーなどで拭き取ります。研磨剤入りの洗剤や食洗器のご使用はできません。



3. スチームノズルにミルクや水垢が付いていないことを確認し、ミルク固着などがあれば専用の洗剤(ミルクチューブクリーナー)できれいに清掃します。

※ミルクチューブクリーナーでの清掃方法

- ① 容器にミルクチューブクリーナー 30 cc とお水 300 cc を入れます。
- ② スチームノズルを浸して上下に動かし馴染ませます。
- ③ 馴染ませた後、数回に分けてスチームボタンを押します。
- ④ すすぎのため、水 300 cc を準備して、③ を行います。
- ⑤ 完了後、スチームノズルを拭き取ります。



※洗剤が皮膚や目に直接触れないよう、安全の為ゴム手袋や保護メガネの着用してください。

トラブルシューティング

■以下の確認と処置を行い、障害が復旧しない場合は弊社コールセンターにお問い合わせください。

トラブル内容	原因	処置
全てのボタンが点滅する	ボイラーへの給水が十分ではない 電気系統の不良	水栓が開いているか確認の上主電源を入れ直してください。
湯(水)がコーヒー抽出口から出ない 抽出したボタンのランプが点滅	①フィルターホルダーの目詰まり ②コーヒー粉の挽き目が細かすぎる ③給水の元栓が閉まっている ④水系路の詰まり	①フィルターの清掃、交換をしてください。 ②コーヒー粉の挽き目を調節してください。 ③給水の元栓が開いているか確認してください。 ④シャワースクリーンを清掃してください。
水温が上がらない コーヒーがぬるい、冷たい	①本製品が温まってない ②ヒーター回路の異常	スチームノブを開けスチームを出し、ヒーターをONにします。約20分後に湯温を確認してください。
水がずっと供給され、止まらない	水位センサーの障害	電源スイッチをOFFにし、再度ONにして現象が改善するか確認してください。
コーヒーが正しい量で抽出されない	水量センサーの不良 電気系統の不良	電源スイッチをOFFにし、再度ONにして現象が改善するか確認してください。
蒸気ノズルからの蒸気漏れ	シール用ガスケット不良	電源スイッチをOFFにし、再度ONにして現象が改善するか確認してください。
フィルターホルダーと本製品の間からの水漏れ・蒸気漏れ	ガスケットの異常または、フィルター部の変形(凹凸)	弊社コールセンターにご連絡ください。
コーヒーがフィルターホルダーから溢れる	①フィルターホルダー部の汚れ ②ガスケットの摩耗 ③抽出ヘッドの詰まり	①清掃を実施してください。 ②ホルダーパッキンを交換してください。 ③クリーニングを実施してください。
コーヒーが抽出されない、遅い	①フィルターホルダーの詰まり ②コーヒー粉の挽き目が細かすぎる ③水の供給が不足している	①フィルターホルダーを清掃してください。 ②コーヒー粉の挽き目を調節してください。 ③水栓が開いているか確認してください。
スチームが出ない	スチームノズル詰り 本製品が温まっていない	スチームノズルを清掃してください。上記「水温が上がらない」を参照ください。
お湯が出ない	①本製品が温まっていない ②電磁弁の不具合	上記「水温が上がらない」を参照ください。

保証とアフターサービスについて

1. 保証書

- 本書に添付しています。
- 保証書は「お買い上げ日」の記入をお確かめのうえ、お受け取りください。
※記入が無い場合でも、お買い上げ日を証明する書類がある場合は、本保証書と一緒に保管してください。
- 保証書記載の修理規定をよくお読みになり大切に保管してください。

2. 修理を依頼される時

取扱説明書の内容をお確かめいただき、不具合が直らないときは電源プラグをコンセントから抜き、当社に修理についてご相談ください。

- 保証期間中の修理
保証書の規定により無料修理致します。お買い上げの販売店または当社までお申し出ください。
- 保証期間経過後の修理
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理をさせていただきます。当社にご相談ください。
- 販売店が独自に定める延長保証(長期保証)サービスをご利用の場合
お買い求めの販売店にご相談ください。

弊社コールセンター

ブルーマチックジャパン株式会社
045-947-0804

受付時間:365日 24時間

※夜間については、受付業務のみとさせていただきます。

3. アフターサービスについてご不明な場合

- アフターサービスについてのご質問などありましたら、当社にお問合せください。

アフターサービスを依頼される場合は次の内容をご連絡ください。

- | | |
|-------|--------------------------|
| ●お名前 | ●商品名 SANREMO Zoe Compact |
| ●ご住所 | ●製造番号 |
| ●電話番号 | ●故障の状態、状況(できるだけ詳しく) |

ご使用の際の注意事項

コーヒーマシンを常に最適な状態に保つために、定期的な清掃作業を行ってください。

清掃作業は取扱説明書に従い、適切に洗浄してください。

使用開始前及び終了後は取扱説明書に従い洗浄してください。

使用中に取扱説明書に書かれていない不具合が発生したら直ちにご使用を止め、当社へご連絡ください。

補修用性能部品の保有期間について

当社では、補修用性能部品について、最終輸入日から5年間保有しております。

※補修用性能部品とは、その本製品の機能を維持するために必要な部品です。

保 証 書(業務用機器)		
型 名	Zoe Compact	
シリアル番号		
保証期間	ご購入時または設置の早い方の日から1年間	
※お買い上げ日	年 月 日	
※お客 様	お 名 前	〒
	住 所	電話()

- ※印欄に記入の無い場合は有効となりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。
- 本保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

■対象マシン

本保証書に記載のマシン。

■サービス提供

「出張修理」

■保証サービス規程

ブルーマテック保証サービス(以下「本保証」といいます。)は、商品のご購入または設置の早い方の日から開始され、ブルーマテックジャパン株式会社(以下「ブルーマテック」といいます)がサービスを運営・提供します。保証書に記載された本製品(以下「本製品」といいます。)について、「保証サービス規程」(以下「本規程」といいます。)に定めるところに従い、無償修理(以下「保証修理」といいます。)を提供します。

第1条. 保証範囲

1. 本保証は、本製品の取扱説明書や注意書に従って正常に使用したにもかかわらず、本製品に生じた電氣的・機械的故障で且つ、本製品のメーカー保証規定にて保証対象となる故障(以下「自然故障」といいます。)を対象とします。
2. 第10条で定める「保証の適用除外事項」に該当する場合には、自然故障であっても本保証の対象外とします。

第2条. 保証期間

本保証が効力を有する期間は、本製品のご購入または設置の早い方の日から開始し、その後1年間が経過した時点で満了いたします。(以下、この期間を「保証期間」といいます。)。保証期間内において本製品に係る修理回数に制限はないものとします。保証期間内に初期不良などによりブルーマテックより交換品(新品)が提供された場合、その他事由の如何を問わず、保証終了日は変更されないとします。

第3条. 保証内容

保証期間内に本製品に自然故障が発生した場合には、当該自然故障に係る保証修理に要する金額が、購入金額を超えない範囲で保証修理を行います。(以下、「上限金額」といいます。)なお、修理見積りが上限金額を超えた場合は、差額をご負担いただくことで修理いたします。保証上限金額は消費税込の金額となります。本製品は、ブルーマテックが規定する出張修理対象本製品であるため、出張修理での保証修理を行います。この場合の出張料は本保証に含まれます。

第4条. 保証の終了

以下の事項に該当する場合には、本保証は終了となります。

1. 第2条に定めるところに従い、保証期間が満了した場合。
2. メーカーの倒産、事業撤退、修理部品の供給停止、その他メーカーがその責任により本製品の修理を行わず、又は修理のための部品などの供給を行えない状態となった場合(事業承継などにより、メーカーと同水準・同条件にて修理を行う者が存在する場合、又は代替品の提供が可能な場合は除く。)

第5条. お客様のご負担となる主な費用

以下に定める事由ないし費用は、本保証には含まれておらず、専らお客様のご負担によるものとします。但し、本保証の範囲外の事由ないし費用を、これらに限定する趣旨ではありません。

1. 本製品の修理方法を問わず、ブルーマテックジャパンの定める離島及び遠隔地の場合における、保証修理に要する交通費・宿泊費 など。
2. 本製品の設置・工事費用及び本製品の処分に係る費用。
3. 本保証利用時にお客様からのご連絡に必要な費用、その他通信費用。
4. 本保証の対象外となる故障及び当該故障の修理に必要な費用。
5. 本保証の対象外となり、保証修理をキャンセルされた場合に必要となる技術費用、出張費用、物流費用、見積費用などの一切の費用。
6. 修理以外の点検費用や消耗品を使用した場合の費用。

第6条. 保証修理の依頼方法

保証期間内に本製品に自然故障が発生した場合には、お客様は、ブルーマテック弊社コールセンター(下記記載)に連絡して保証修理をご依頼ください。保証修理受付時に、保証修理手続の手順をご説明しますので、説明手順に従ってください。

ブルーマテック弊社コールセンター045-947-0804

1. お客様による保証修理のご依頼をいただいた際、ブルーマテック弊社コールセンター、お客様の本保証に関する保証登録情報(本製品情報及び個人情報)の確認をいたします。お客様より保証修理依頼に際してご通知いただいた情報と登録情報との間に相違があった場合、その他お客様より必要な情報のご通知をいただけない場合には、本保証が提供されない場合がございますので、お客様におかれましては、本保証の加入後、保証書(必要情報が記載されております。)の保管・管理に十分ご注意くださいませうお願いします。
2. ブルーマテックが必要と判断した場合に本製品に係る記憶装置のデータの消去を行うことについては、お客様には事前にご同意いただいているものとし、何ら異議を述べないものとします。
3. お客様のご都合により、修理受付日から1カ月経過しても修理の着手ができない場合には、修理受付を無効とします。

第7条. 登録情報の変更

以下の場合には、お客様におかれましては、速やかにブルーマテック弊社コールセンターまでご通知ください。ご通知いただけなかった場合には、本保証が適用されない場合があります。なお、保証書に記載されたお客様情報の変更は、保証書に記載されたお客様から、ご通知いただいた場合に限り承ります。

1. 保証期間中に加入者名の変更や連絡先電話番号、住所などの変更がある場合。本規程をご説明の上、お客様より新しい所有者の情報をご通知ください。系列店の譲渡のみ所有者情報変更を承ります。本製品の第三者への転売や譲渡をされる場合には、本保証は終了となります。

第8条. 個人情報の使用

ブルーマチックは、お客様よりご提供いただいた保証項目、個人情報などを保管、使用、処理の上、本保証を提供します。また、本保証を提供するため、以下の場合に限り、ブルーマチックの責任において、事業協力会社(メーカー・修理会社・販売店・金融機関など)へお客様の個人情報を提供します。

1. 保証修理(代替品の提供を含む。)に際してブルーマチックと事業協力会社による個人情報の共有が必要となる場合。
 2. 本保証およびその他のサービスの品質向上を目的として、お客様に電子メール、郵便物によるアンケート調査。
 3. サービス案内およびキャンペーンなどの実施。
 4. 本保証の品質向上を目的として、お客様における本保証の利用に関する情報を収集し分析すること。
 5. 個人情報の取扱いの全部または一部を委託する場合があります。
 6. ご提供いただいた個人情報を同意なしに第三者へ提供することはありません。
- お客様からの求めにより、ご提供いただいた個人情報について、その「利用目的の通知、開示、追加訂正または削除、利用の停止消去および第三者への提供の停止(以下「開示など」といいます。)に

第9条. 間接損害

本保証に関する法律上の請求において、間接損害(事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失など)、特別損害、付随的損害、拡大被害、他の機器や部品に対するデータの損失又は損傷、第三者からの賠償請求に基づく損害、身体障害(障害に起因する死亡及び怪我を含む。)並びに他の財物に生じた損害に関して、ブルーマチックは一切の責任を負わないものとします。但し、ブルーマチックの故意又は重過失によるものがある場合には、この限りではありません。

第10条. 保証の適用除外事項

以下の事項に該当する場合には、本保証は適用されないものとします。

1. お客様又は第三者の故意若しくは過失又はメーカー保証の対象外である加工、改造、修理、設置、工事若しくは清掃に起因する故障及び障害。
2. 使用する水質、水圧などの不良が原因で発生した故障及び損傷。
3. 取扱説明書、注意書に記載している取扱方法とは異なる不適切な使用(日常のお手入れ、改造行為、増設、電池漏洩など)など、取扱いが不適切であることに起因する故障及び損傷。
4. メーカーが定める想定された用法を超える過酷な使用に起因する故障及び損傷(車両、船舶への搭載、高温、高湿度などの特殊な環境での使用を含む。)
5. 破損、落下、衝撃、火災、落雷、過電流、異常電圧、塩害、公害、地震、その他天災地変や、異物の混入(金属、カビ、塵、埃、虫、鼠 など)の外部要因事由に起因する故障及び損傷。
6. 消耗品(浄水カートリッジ、クリーナー、フィルターカバー、バックリング、ガスケット、電池、などブルーマチックジャパンが指定する部品)の交換に係る費用。
7. 消耗品単体の故障及び損傷。
8. メーカー指定外の消耗品の使用に起因する故障及び損傷。
9. 盗難、紛失、その他の事由により、お客様が本製品を保有しておらず、本製品の状態を確認できない場合。
10. 経年劣化あるいは使用損耗により発生する現象で、通常使用に支障の無い部分で経年劣化の範囲に相当するもの(外装品、塗装面、メッキ面、樹脂部分、スプリングなどのヘタリ、自然退色、劣化、錆、腐食、カビ変質、変色、その他類似の事由など)。
11. 本製品の機能及び使用の際に影響の無い損害(外観、傷、液晶の画面焼けやピクセル抜け及び輝度低下を含む)。
12. 本製品の仕様、構造上又は本来的性質に基づく制限、不利益など。
13. 本製品の付属部品、アクセサリー、周辺機器などの本製品以外の本製品の故障、増設機器などの相性に起因する故障及び不具合。
14. ブルーマチックが保証修理の依頼を受けた本製品の点検・診断を実施した結果、故障の存在を確認できなかった場合。
15. 本保証の対象外に起因する故障であることが判明した場合の修理技術費用、部品代金、出張費用、物流費用、修理見積費用など。
16. 修理を伴わない調整(味や量、ミルク泡立ち、メニュー変更や追加)、清掃。
17. お客様ご自身で付加されたラベル・シート・カバー類、塗装・刻印などを元の状態に復旧する費用。
18. 本製品を日本国外に持ち出された場合の日本国外からの保証修理依頼。
19. 国又は公共団体の公権力の行使に起因する故障及び損傷。
20. 核燃料物質若しくは核燃料物質による汚染された物の放射性、爆発性その他の有害な特性に起因する故障及び損傷。
21. 戦争(宣戦の有無を問わず)、外国の武力行使、革命、内乱その他これらに類似の事象に起因する故障及び損傷。
22. 本製品の損害に係る申告内容の真实性について明らかな疑義がある場合。
23. 本製品と異なる本製品(シリアル番号などが異なる場合など)の修理をご依頼された場合や、本製品のシリアル番号が確認できない場合(但し、本製品の内蔵データなどから本製品と同一と確認ができる場合を除く。)

第11条. 本保証の解約

本保証は加入後から保証期間終了までの間、解約することは出来ません。

第12条. 解除

ブルーマチックは、お客様が、次のいずれかに該当する場合には、お客様に対する書面による通知をもって、本保証を解除することができます。

1. 暴力団、暴力団員(暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者を含む。)、暴力団準構成員、暴力団関係企業その他の反社会的勢力(以下「反社会的勢力」といいます。)に該当すると認められること。
2. 反社会的勢力に対して資金などを提供し、又は便宜を供与するなどの関与をしていると認められること。
3. 反社会的勢力を不当に利用していると認められること。
4. 法人である場合において、反社会的勢力がその法人の経営を支配し、又はその法人の経営に実質的に関与していると認められること。
5. その他反社会的勢力と社会的に非難されるべき関係を有していると認められること。

前項の規定による解除が自然故障の後になされた場合であっても、前項各号の事由が生じた時から解除がなされた時まで発生した自然故障については、保証修理を行いません。この場合において、既に保証修理を行った時は、ブルーマチックは、当該保証修理費用相当額の返還を請求することができます。

第13条. その他の注意事項

1. 故障並びに損害の認定などについてブルーマチックとお客様の間で見解の相違が生じた場合には、ブルーマチックは、中立的な第三者の意見を求めることができます。
2. 修理依頼品において、返却可能日をお知らせしている場合(お客様のご都合でお知らせできない場合を含む。)、依頼をお受けした日から3ヶ月を経過してもお受け取りいただけない時は、ブルーマチックにて処分します。その際には修理費用(キャンセルに伴う一切の費用を含む。)に加え、処分に要した費用の一切を、ブルーマチックの請求に従い速やかにお支払いいただくものとします。
3. お客様は、本製品をご購入または設置いただいた時点で、本規程にご同意いただいたものとします。

第14条. 本規程の変更

1. ブルーマチックは、本規程の目的に反しない限度で、法令に従って本規程を変更することがあります。
2. 前項に基づき本規程を変更する場合には、ブルーマチックのホームページへの掲載その他適切な方法により、変更内容及び変更時期を事前にお客様に周知することとします。

輸入代理店
ブルーマチックジャパン株式会社
神奈川県横浜市都筑区仲町台5-4-22



ブルーマチックジャパン株式会社
<http://www.brewmatic.co.jp/>
本社: 〒224-0041 神奈川県横浜市都筑区仲町台 5-4-22



240514